

気仙沼市 仮設住宅戸数:3,215戸(93団地) 民間借り上げ住宅契約件数:1,309件 ※2013.3.1現在						
	復興支援CO	生活支援相談員	生活相談員	友愛訪問員	地域支援員	NPO
委託元(担当課)	気仙沼市高齢介護課		気仙沼市高齢介護課	地域包括支援センター	まちづくり推進課	気仙沼市高齢介護課
予算	社会的包摂・「絆」再生事業		地域支え合い体制づくり事業	緊急雇用創出事業	復興活動支援事業 (総務省復興支援員)	緊急雇用創出事業
人数	17名	34名	・気仙沼地区SC 9名 ・本吉地区SC 3名 ・唐桑地区SC 4名 ・一関地区SC 7名	34名	9名	
委託先	気仙沼市社協 (地域福祉課ボランティアセンター)		・気仙沼市社会福祉協議会 ・社会福祉法人 春園苑 ・有限会社 笹陣 ・特定非営利活動法人なごみ	湖聖会、(株)ハック、 みずなしの丘、村伝、 リバーサイド春園、な ごみ、土筆の里	震災復興 まちづくり推進課	気仙沼復興協会 福祉部
担当エリア	全市と仮設住宅のある一関市		・旧気仙沼市地区(仮設住宅) ・本吉地区(仮設住宅) ・唐桑地区(仮設住宅) ・千厩地区(仮設住宅)	大島を除く全仮設住宅	全仮設住宅	全仮設住宅
活動内容	仮設住宅	・被災者訪問 ・相談 ・見守り活動 ・コミュニティ形成支援 ・住民参加の共同交流イベントの実施とそのボランティアコーディネート	・被災者訪問 ・相談 ・見守り活動 ・コミュニティ形成支援 ・住民参加の共同交流イベントの実施とそのボランティアコーディネート	総合相談の実施や交流活動等により、孤立化・ひきこもり等を防止し、安心した生活が送られるよう支援する 看護師・保健師による健康相談	・各自治会役員(主に会長)のサポート ・集団移転の勉強会、説明会のコーディネート	・「お茶会」の開催 ・入居者自身の企画したイベント補助 ・コミュニティペーパー「いどばた」の作成
	みなし仮設	・復興支援COについては、生活支援相談員より福祉的な視点を持つ		※旧気仙沼市地区はみなし仮設も含む		
	在宅					
その他 (連携状況等)	・気仙沼NPONGO連絡会(まちづくり推進課、気仙沼市社協、気仙沼復興協会、気仙沼地区SC、一関地区SC)・週一回、唐桑、本吉それぞれNPO/NGO連絡会・月一回の一関を管轄した各地区支援者ミーティング(サボセン・社協ボラセン・健康増進課・包括・友愛訪問員・各NPOなど参加)・地区民児協定例会・週一回、気仙沼復興協会、まちづくり推進課、社協ボラセンによるボランティア調整会議					

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡ください。
みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email: renpuku@gmail.com

南 三 陸 町 仮設住宅戸数:2,124戸(58団地) 民間借り上げ住宅契約件数:51件 ※2013.3.1現在						
		生活支援相談員		訪問介護員	復興まちづくり推進員	復興応援隊
委託元(担当課)					宮城大学	宮城県地域復興支援課
予算		サポートセンター事業／緊急雇用創出事業		サポートセンター事業／緊急雇用創出事業	三井物産環境基金	復興活動支援事業(復興応援隊)
人数		212名(被災者生活支援センター本部:17名、戸倉サテライト:28名、入谷サテライト:18名、志津川サテライト:54名、歌津サテライト:44名、南方サテライト:26名、横山サテライト:15名、みなし仮設訪問班:10名)				3人
委託先		南三陸町社協			宮城大学	株式会社 ゆいネット(南三陸町産業振興課)
担当エリア		被災者生活支援センター(戸倉サテライト、入谷サテライト、志津川サテライト、歌津サテライト、南方サテライト、横山サテライト、みなし仮設サテライト)				町観光協会、仮設商店街(志津川、歌津)を中心に町内全域
活動内容	仮設住宅	「滞在型支援員」 ・仮設住宅に居住する者が同団地内の登録高齢者等の安否確認を行う ・訪問対象は70才以上の独居、老夫婦世帯、50歳以上の男性独居世帯、その他見守りが必要と思われる世帯 ・担い手は原則60才以上の本来見守りの対象になるであろう者(社会参加レベルの向上)	「巡回型支援員」 ・個別訪問を行い生活ニーズを把握し、孤独死を予防する ・サロン活動によるコミュニティ形成支援	仮設住宅内でのコミュニティ形成支援		・町の観光協会において、観光プログラムの企画・実施、「復興市」等のイベントの企画・運営、町の観光に関する情報発信等を担当
	みなし仮設	「訪問型支援員」 ・県内のみなし仮設住宅を訪問し、帰郷の思いを断ち切らないよう支援(一か月250軒程度)・県外みなし仮設世帯	「兵站型支援員」 ・後方支援(支援物資の配送、ボラセン支援、サテライト支援等)			
	在宅					
その他(連携状況等)						

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡ください。
みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email: renpuku@gmail.com

石 巻 市 仮設住宅戸数:7,103戸(131団地) 民間借り上げ住宅契約件数:4,272件 在宅被災世帯 約1万世帯 ※2013.3.1現在																			
	拠点センター長	復興支援CO	エリア主任	訪問支援員	地域福祉CO											復興応援隊	復興応援隊	復興応援隊	復興応援隊
委託元(担当課)						被災市民生活支援課	被災市民生活支援課	被災市民生活支援課	被災市民生活支援課	被災市民生活支援課	被災市民生活支援課	被災市民生活支援課	被災市民生活支援課	被災市民生活支援課	被災市民生活支援課	宮城県 地域復興支援課 復興活動支援事業 (復興応援隊)	宮城県 地域復興支援課 復興活動支援事業 (復興応援隊)	宮城県 地域復興支援課 復興活動支援事業 (復興応援隊)	宮城県 地域復興支援課 復興活動支援事業 (復興応援隊)
予算	社会的包摂「絆」再生事業			緊急雇用創出事業		地域支え合い 体制づくり事業	地域支え合い体制 づくり事業	地域支え合い体制 づくり事業	地域支え合い体制 づくり事業	地域支え合い体制 づくり事業	地域支え合い体制 づくり事業	地域支え合い体制 づくり事業	地域支え合い体制 づくり事業	地域支え合い体制 づくり事業	地域支え合い体制 づくり事業				
人数		15人	15人	128人	4人						45人					3人	3人	4人	3人
委託先	石巻市社協				石巻市社協	福祉仮設住宅運営 事業 (全国コミュニティ ライフサポートセン ター)	歯科医師等相談支 援 (宮城県歯科医師 会)	社会福祉士等相談 支援事業	障がい者総合サ ポートセンターく る み (日本相談支援専 門員協会)	からころステーション (震災こころのケア ネットワークみやぎ)	在宅避難者世帯サ ポートセンター (高齢先進国モデル 構想会議)	精神保健福祉士等 相談支援事業 (仁泉会)	カーシェアリングコ ミュニティセンター (日本カーシェアリン グ協会)	看護師等相談支援 事業 (キャンナス東北)	みらいサポート石 巻	石巻スポーツ振 興 サポートセンター	パルシック	キャンパー	雄勝硯生産販売 協同組合
担当エリア	石巻市ささえあいセンター (開成、大橋、蛇田、万石、大森、雄勝、河北、河南、桃生、北上、牡鹿 の各拠点センター)										石巻市沿岸部					石巻市中心部	石巻市中心部	石巻市北上地区	石巻市牡鹿地区
活動 内 容	仮設住宅	復興支援CO、エ リア主任、訪問 指導員を指揮、 総括するととも に、市との連絡 調整を図る	・エリア主任の 報告を受け、 関係機関への 連絡調整 ・コミュニティ 支援活動の推 進 ・健康相談会 等への参加率 向上のための 働きかけ	・巡回、見守り 状況、相談受付 状況等の総括 ・相談記録のま とめ ・コミュニティ支 援活動の企画、 実践		福祉仮設住宅「あが らいん」の運営 一般の仮設住宅で の生活が困難と認 められる高齢者等 に対し、ケア付き仮 設住宅を提供する	歯科相談	経済的な不安、 家族関係の相談 センターを中心に、 社会福祉士等の専 門職による相談支 援、生活支援など	障がい者(児)相談 支援、巡回支援、緊 急一時保護等を実 施するとともに、障 がい者支援のサ ポート拠点の運営	こころのケアの相談 臨床心理士等の専 門職による相談支 援を実施するととも に、心のサポート拠 点を整備する	在宅被災世帯調査 の中で発見した場 合には市役所に報 ・生活・健康アセス メント調査による孤立 の防止					・仮設住宅自治 会連合会の運営 支援	・仮設住宅集会 所でのイベント等 の支援	・生活再建支援 (特に住宅面) ・子ども支援 ・イベントの実施 ・地域の情報発 信	・「がんばってっ ちゃ牡鹿」の事務 局サポート ・各種イベントの 実施、サポート ・「牡鹿ふるさと 通信」の発行
	みなし仮設															・街づくりのサ ポート ・石巻に関わる情 報発信サポート	・子ども支援(ス ポーツイベント、 遊び場の設置 等)		・各種イベントの サポート ・「月刊雄勝」の 発行 ・漁業支援
	在宅																		
その他 (連携状況等)																			

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡ください。
みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email: renpuku@gmail.com

女川町 仮設住宅戸数:1,275戸(30カ所) 民間借り上げ住宅契約件数:53件 ※2013.3.1現在								
		くらしの相談員 (生活支援相談員)	ここから専門員 (有資格者)	マネージャー (事務職員)	ディレクター (町保健師)	包括支援センター	地域医療センター	復興支援CO
委託元(担当課)		健康福祉課						
予算		社会的包摂・「絆」再生事業	地域支え合い体制づくり事業			包括センター		社会的包摂・「絆」再生事業
人数		14名 (生活支援相談員)	8名(社協2、元気村1、永楽会1、パンプキン2、地域医療センター2)	5名	2名	3名		社協(1名)、 コーディネーター(生活支援相談員)(5名)
委託先		女川町社協 (女川町地域医療センター支援チーム)	社協、元気村、永楽会、パンプキン、地域医療センター			女川町社協		女川町社協
担当エリア		2名／チームを8地区に配置(1チームは2地区をカバー)	社協(2地区) 元気村(1地区) 永楽会(1地区) パンプキン(2地区) 地域医療センター(2地区)		全地域			全地域
活動内容	仮設住宅	原則、ここから専門員と一緒に訪問活動。各地区で区長・保健推進員、民生児童委員、食生活改善推進委員、聴き上手ボランティア、健康づくりリーダーと連携。 【役割】1. 担当地区健康相談、2. 家庭訪問活動、3. 仮設集会所等でのお茶っこ会やレクリエーション等の集団活動、4介護予防事業とのタイアップ、年2回の全戸訪問、暮らしと健康の情報提供	同左	契約事務 支援情報システム管理 会議庶務	【役割】1. 各8ブロックの活動把握とコーディネート、2. 関係部署との調整、3. 人材育成(研修企画運営)、4. 全戸訪問等コーディネート、5. 支援情報システムの構築、6. 各地区支援員等課題検討会議運営、7. 出張診療相談企画、8. 心のケアスタッフ育成	要介護等の専門相談		復興支援センターでV調整。地域コミュニティの再生のための企画、実施
	みなし仮設							
	在宅							
その他 (連携状況等)		町内を旭ヶ丘、浦宿、鷲神、清水、大原A、大原B、離島、石巻バイパスの8エリアに分けて支援						

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡ください。
みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email: renpuku@gmail.com

東 松 島 市 仮設住宅戸数:1,626戸(25団地) 民間借り上げ住宅契約件数:877件 ※2013.3.1 現在												
	訪問支援員	生活支援相談員	事務員	ボランティア CO	プロジェクト スタッフ	プロジェクト リーダー	コミュニティー SW	サロン活動スタッフ	看護職員	社会福祉士・ケアマネ	地域復興推進員	復興応援隊
委託元(担当課)											東松島市(覚書)	宮城県地域復興支援課
予算	市委託金 (地域支え合い体制づくり事業)										JICA	復興活動支援事業(復興応援隊)
人数	24名	6名	4名	1名	1名	1名	1名	5名	2名		3名(現在2名)	7名
委託先	東松島市社協 (生活復興支援センター)									社会福祉士会・ケアマネ協会	JICA	東松島復興協議会
担当エリア	東松島市内 (3地区、矢本東、矢本西、鳴瀬の被災者サポートセンターを拠点)	東松島市内 (3地区、矢本東、矢本西、鳴瀬の被災者サポートセンターを拠点)	東松島市内 (中央と3地区のSC)	東松島市内 (中央SC)	東松島市内 (中央SC)	東松島市内 (中央SCに配置)	東松島市内 (中央SCに配置)	東松島市内 (中央SCに配置)	東松島市内 (中央SCに配置)	東松島市内 (市内をいくつかのエリア分け、エリア毎に個別訪問)	東松島市宮戸市民センターに1名、野蒜市民センターに1名)	東松島市内 (3地区に2名ずつ配置、事務局に1名)
活動内容	仮設住宅	(市内全仮設団地) ・戸別訪問 相談、見守りなど ・福祉コミュニティ形成支援 サロン運営支援など	(市内全仮設団地) ・個別相談への対応 ・訪問支援員のコーディネート ・福祉コミュニティ形成支援 サロン運営支援など ・中央サポートセンターや関係機関との連絡調整	・3地区センターの活動スケジュール調整 ・訪問支援記録の管理 ・ミニコミ誌等の発行など	・災害復旧、生活支援ボランティアのコーディネート ・支援業務の実施 ・ボランティア団体との協働支援活動など	・特別支援プロジェクトの実施 ・支援業務の実施 ・ボランティア団体との協働支援活動など	・特別支援プロジェクトの企画、実施 ・支援計画の企画立案 ・ボランティア団体との協働支援活動など	・地域の福祉課題の把握 ・個別支援及び地域支援活動の企画 ・関係機関との連絡調整など		・地域包括支援センターや病院(PT・OT)と協働で生活不活発病予防事業を7月から実施。3地区の市民センターを会場に、参加者は仮設住宅入居者・在宅者の制限は設けていない。 ・左記、サロン活動のスタッフとしても併任。		・市民センターにおける復興まちづくり活動への貢献 ・復興まちづくりへの地域住民参加促進への貢献 ・自治協議会・まちづくり協議会等への参画機会が少ない地域の住民(若手世代、子育て世代等)との繋ぎ活動 ・コミュニティ再生のための活動 ・外部団体との連携・調整、環境未来都市構想等の施策等を通じたまちづくり活動への貢献
	みなし仮設									戸別訪問調査		
	在宅							・市内21カ所の集会所等でサロン活動を実施(1カ所月2回程度)。参加者は65歳以上で1会場20名～40名。		戸別訪問調査		・各種イベントの運営サポート
その他 (連携状況等)	※上記の3地区サポートセンターには、それぞれ管理者を配置しています。 (連携体制等) ・民生委員児童委員協議会との連携:みなし仮設入居者の日常的見守り活動を民生委員活動の一環として行うもの(民児協と市、社協で協議進行中)。 ・市保健師との連携:健康・栄養相談会や歯とお口の健康教室の開催に合わせたサロン活動(お茶会など)の実施 ・仮設住宅代表者会議への参加:月1回開催される会議(市が主催)へ市・サポートセンター内職員・復興支援関係者が情報提供・情報共有などを目的に参加 ・復興協議会との連携:NPOや復興支援団体(約30団体)が組織した協議会の定例会議に参加。復旧・復興支援ボランティアの調整などの連携を図っている。 ・市内ボランティア団体との連携:仮設住宅団地内集会所や市内各地域の集会所で開催しているサロン活動への支援を通して連携を図っている。											

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡
 みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email:renpuku@

多 賀 城 市 仮設住宅戸数:351戸(6団地) 民間借り上げ住宅契約件数:1,034件 在宅(半壊以上):4,122世帯 ※2013.3.1現在						
	市社協 復興支援あいセンター職員	共立メンテナンス職員				地域支援員
委託元(担当課)	生活再建支援室	生活再建支援室	健康課	健康課	健康課	多賀城市 地域コミュニティ課
予算	社会的包摂・「絆」 再生事業	緊急雇用創出事業				復興活動支援事業 (総務省復興支援員)
人数	センター長1名 コーディネーター2名 生活支援相談員7名 復興支援員1名(県社協) (9.18現在)	22名		10名 (2名1組5班体制)		2名
委託先	多賀城市社協 (復興支援あいセンター)	共立メンテナンス	緑ヶ丘病院	(株)ホームナース	坂総合病院	多賀城市 地域コミュニティ課
担当エリア	各仮設住宅及び被災地域の みなし仮設・在宅 (拠点:山王、城南、野球場)	各仮設住宅	各仮設住宅		各仮設住宅	多賀城市桜木地区
活動 内容	仮設住宅	・復興イベントの調整 ・ボランティアと被災者ニーズ の調整	・仮設住宅6団地の管理 ・仮設団地のニーズ対応 ・イベント調整(集会所 管理) ・戸別訪問 ・仮設コミュニティの事	・こころのケア事業		・健康相談業務 ・巡回訪問(週3回)
	みなし仮設	・巡回訪問(調査)によるニーズ把握 と対応(継続訪問) ・地域サロン(絆づくりイベント)の開 催 ・復興イベント実施の調整 ・ボランティアと被災者ニーズの調 整			健康確認 訪問指導事業	
	在宅	・地域自治組織及び郵便事業者・ラ イフラインのメーター検査員等と連 携した見守り体制の構築				
その他 (連携状況等)	・市役所、社協、民生委員、復興応援団、共立メンテナンスで連絡調整会議を仮設団地ごとに月一回実施 ・生活支援課と共立メンテナンスで週2回情報交換・復興支援あいセンターと共立メンテナンスで週2回情報交換					

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡ください。
みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email: renpuku@gmail.com

塩 釜 市 仮設住宅戸数:195戸(7団地) 民間借り上げ住宅契約件数:487件 ※2013.3.1現在						
		相談員	サポートスタッフ	管理スタッフ	支援CO	
委託元(担当課)						
予算		地域支え合い体制づくり事業				
人数		2人	3人	3人	1人	
委託先		塩釜市社協 (ふれあいサポートセンター)				
担当エリア		市内全域				
活動内容	仮設住宅	仮設住宅等(避難先や在宅を含む)の要介護高齢者・障害者(児)等の安心した生活を支援するため、仮設住宅の集会所を活用し、専門職種のものによる総合相談や生活支援相談などの実施				
	みなし仮設					
	在宅					
その他 (連携状況等)						

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡ください。
 みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email: renpuku@gmail.com

七ヶ浜町 仮設住宅戸数:373戸(7団地) 民間借り上げ住宅契約件数:80件 ※2013.3.1現在					
		VCコーディネーター	生活支援相談員		
委託元(担当課)		健康増進課			
予算		社会的包摂・「絆」再生事業	社会的包摂・「絆」再生事業	地域支え合い体制づくり事業	
人数		3人	2人	10人	
委託先		七ヶ浜町社協	七ヶ浜町社協	アクアゆめクラブ (仮設住宅サポートセンター)	
担当エリア		町内全域	町内全域		
活動内容	仮設住宅	仮設集会所のイベント調整・町内の自然系のボランティア活動調整	町内の在宅高齢者・要支援者の訪問	仮設入居者のメンタルヘルスケアなどの見守りをメインに世話人会運営サポート、コミュニティ支援、情報共有をサポート 各種支援の受け入れ調整 遺失物の洗浄、管理	
	みなし仮設		調査・訪問		
	在宅				
その他 (連携状況等)		・仮設住宅支援を市役所、アクアゆめクラブとRSYと町社協で連携を取り実施			

仙 台 市 仮設住宅戸数:1,335戸(19団地) 民間借り上げ住宅契約件数:8,572件 ※2013.3.1現在										
		常設生活支援相談員	巡回相談生活支援 相談員	個別訪問生活支援相談員	絆支援員等	パーソナルサポーター/プ ロジェクトコーディネーター 等	生活再建支援員		復興応援隊	
委託元(担当課)		自主事業			仙台市市民協働推進 課	仙台市市民協働推進 課	仙台市生活再 建支援室	自主事業	宮城県地域復興支援 課	
予算		社会的包摂・「絆」再生事業			緊急雇用創出事業	地域支え合い体制づ くり事業	地域支え合い体 制づくり事業	社会的包摂・ 「絆」再生事業	復興活動支援事業(復 興応援隊)	
人数		19人		17人	52人	14人	18人	19人	2名	
委託先		社会福祉法人仙台市社会福祉協議会 (地域支えあいセンター事業)			一般社団法人パーソ ナルサポートセンター	一般社団法人パーソ ナルサポートセンター	仙台市シルバー 人材センター	NPO法人POSSE	子ども育成支援協会 (仙台市若林区まちづ くり推進課)	
担当エリア		仙台市内(応急仮設住宅入居者等) ※常設型 支えあいセンター5箇所 (あおば、たいはく、みやぎの、わかばやし、いずみ)、 ※巡回相談所(市内20ヶ所程度の市民センター)設置			仙台市内(応急仮設 住宅入居者)	仙台市内(応急仮設 住宅入居者等)	仙台市内(応急仮 設住宅入居者)	仙台市内(応急仮 設住宅入居者)	六郷・七郷地区を中心 に若林区全域	
活動 内容	仮設住宅	・被災者支援情報等の提供・各種困りごと相談・各種イベントの企画、ふれあいサロン、茶話会等の開催			・関係機関との連携のもと、絆支援員が訪問活動や相談等を行い、必要に応じ専門機関等へ繋ぐなど、被災者の生活再建に向けたサポートを行う	・中間就労体験(手仕事、農業など)を通じた生きがいづくりや就労意欲向上に向けた支援を行うほか、就労相談窓口を設置し、被災求職者の一般就労に向けた総合的な就労支援(生活支援を含む)を行う	・住まいの再建等、生活再建に関する支援情報提供	・仮設住宅送迎バス運行 ・就労支援 ・就学支援 ※送迎・就学支援は一部のプレハブ仮設住宅のみ	・仮設住宅でのイベントの運営補助	
	公営住宅等									
	みなし仮設				・世帯構成員に概ね65才以上を含む世帯、概ね15歳以下の子を含む一人親世帯を対象 ・個別訪問を通じて地域支えあいセンターの事業周知を行う ・孤立を防止するため見守りニーズの把握を行う					・「六郷・七郷コミネット」の事務局担当 ・復興に関する情報発信 ・地域誌の編集サポート
	在宅									
その他 (連携状況等)		※必要に応じ、関係機関間において連携・協議を実施している。								

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡ください。
みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email: renpuku@gmail.com

名 取 市 仮設住宅戸数:836戸(8団地)、民間借り上げ住宅契約件数:819件 ※2013.3.1現在						
	生活支援相談員	復興支援CO	どっと・なとり訪問員			
委託元(担当課)	生活再建支援課		生活再建支援課			
予算	社会的包摂・「絆」再生事業		地域支え合い体制づくり事業	地域支え合い体制づくり事業		
人数	7人	2人	8人 (LSA6人、事務2人)	15人		
委託先	名取市社協 (なとり復興支援センターひより)		直営	青年海外協力協会 (JOCA)	名取交流センター協議会(ともだちin名取等)と協力	
担当エリア	それぞれの仮設 (美田園 他)	市内全域	市内全域、近隣市町	市内全域 (9地区12拠点)		
活動内容	仮設住宅	・担当仮設の集会所に 常駐し見守り ・イベント開催及び調整、協力 ・相談業務及び関係機関との連携	集会所におけるイベントの調整、全体コーディネート			
	みなし仮設		みなし仮設、在宅被災者支援	コミュニティ再生支援		
	在宅		(サロンの開催、戸別訪問)			
その他 (連携状況等)	・名取市生活再建支援課、介護長寿課、名取市サポートセンターどっと・なとり、保健センター、社協、民生委員児童委員協議会、名取交流センター協議会、大学等と「名取市被災者支援連絡会」を実施し(隔月)。 ・保健センター、医療・介護・福祉系10団体により健康支援会議を実施(隔月)。 ・その他ケース検討会議(月2回) ・地域包括支援センター、(財)訪問看護協会、復興支援センターひより、保健センター、4者連絡会(月1回)					

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡ください。
みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email: renpuku@gmail.com

岩 沼 市 仮設住宅数:358世帯(3団地)、民間借り上げ住宅契約件数:532世帯 ※2013.3.1現在						
	生活支援相談員	復興支援CO	生活支援員			
委託元(担当課)	被災者生活支援室		被災者生活支援室			
予算	社会的包摂・「絆」再生事業		社会的包摂・「絆」再生事業			
人数	3人	2人	5人			
委託先	岩沼市社協 (岩沼市復興支援センタースマイル)		青年海外協力協会(JOCA) (里の杜サポートセンター)			
担当エリア	仮設住宅3カ所、みなし仮設等18世帯		仮設住宅3カ所			
活動内容	仮設住宅	コミュニティづくり支援、町内会活動支援、ボランティア受入調整、情報提供(スマイルカレンダー)	個別訪問、見守り活動、安否確認、総合相談、集会所運営サポート、関係機関との連携			
	みなし仮設	見守り活動、巡回訪問、交流の場の提供、生活相談の実施、コミュニティ再生支援、町内会活動支援、ボランティア受入調整、情報提供				
	在宅	浸水地域におけるサロン活動支援				
その他 (連携状況等)	・被災者生活支援関係部局である被災者生活支援室、都市計画課、介護福祉課(高齢者)地域包括支援センター、健康増進課、社会福祉課、子ども福祉課、復興整備課、復興支援センタースマイル(社協)、里の杜サポートセンター(JOCA)が、月に1度集まり、被災者生活支援情報交換会を実施。 ・町内会長・区長等役員、行政、里の杜サポートセンター、復興支援センタースマイルが月一回、仮設住宅事務連絡会議を実施。 ・被災者生活支援室、介護福祉課(高齢者)地域包括支援センター、健康増進課、社会福祉課、復興支援センタースマイル(社協)、里の杜サポートセンター(JOCA)が、2週間に1度集まり、ケース検討会を実施。					

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡ください。
 みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email: renpuku@gmail.com

亘 理 町 仮設住宅数:969戸(5団地) 民間借り上げ住宅契約件数:234件 ※2013.3.1現在						
		生活支援相談員	復興支援Co			
委託元(担当課)				亘理町		
予算		社会的包摂・「絆」再生事業		地域支え合い体制づくり事業		
人数		6人	2人	55名		
委託先		亘理町社協 (亘理ささえあいセンター「ほっと」)		直轄 亘理町サポートセンター		
担当エリア		仮設5か所	町内全域	亘理町内、応急仮設住宅(5か所)、みなし仮設住宅、在宅		
活動内容	仮設住宅	・みまもり訪問活動 ・イベント開催及び調整 ・お茶会の支援 ・ほっと通信配付	全体	・巡回訪問による被災者の状況把握 ・集会所を利用したサロン活動 ・生活総合相談や生活再建に向けたパーソナルサポート業務 ・ボランティア募集とマッチング ・情報発信 ・情報交換会等の連絡会議 ・イベントの運営		
	みなし仮設	・みなし仮設住宅日帰りバスツアーの企画運営等				
	在宅					
その他 (連携状況等)		・月1回サポートセンター連絡会議(健康推進課、包括センター、被災者支援課、社協) ・第2、4月曜ケース検討会議(健康増進課、包括センター、社協)				

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡ください。
 みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email: renpuku@gmail.com

山 元 町 仮設住宅数:913戸(11団地) 民間借り上げ住宅契約件数:70件 ※2013.3.1現在				
		生活支援相談員	復興支援CO	サポートセンター事業
委託元(担当課)		被災者支援室		山元町地域包括支援センター
予算		社会的包摂・「絆」再生事業		地域支え合い体制づくり事業
人数		14人 (臨時職員)	3人 (正規1人、臨時2人)	訪問:3人(保健師、看護師) サロン＆配食:7人(栄養士、看護師、介護員)
委託先		山元町社協 (やまもと復興応援センター配属)		訪問:地域包括支援センター直轄 サロン＆配食:(社福)静和会
担当エリア		・町内仮設住宅 ・町内外みなし仮設住宅 ・その他、町内	町内全域	・町内仮設住宅(みなし仮設住宅を含む) ・津波浸水地区
活動内容	仮設住宅	・戸別訪問による見守りと寄り添い ・住民が抱える問題を解決へとつなぐ ・民生委員、役場などとの連携 ・週1回のお茶っ子サロン実施、「お茶っ子通信」発行 ・住民主催イベントの手伝い ・仮設集会所利用スケジュール管理及び支援調整 ・その他のコミュニティ形成支援	旧災害VCの活動となるボランティア班担当 (主な活動) ・畑ガレキ除去、個人宅清掃 ・側溝上げ ・イチゴ農家支援 ・町内引っ越し ・ボランティア団体との活動連携	・保健師や看護師による支援の必要な高齢者訪問 ・中山熊野堂仮設住宅集会所を使ったサロン事業(おおむね65歳以上対象一約40人が利用) ・おおむね65歳以上対象に配食サービス(300円／食、昼食のみ)を週2回実施(7月現在41人が利用)
	みなし仮設	・はがきによる安否確認と電話と訪問による寄り添い		保健師や看護師による支援の必要な高齢者訪問
	在宅	・住民主催サークルやイベントの手伝い、協力		
	共通	・4月より町との協働で毎月「ヨツクロ新聞」発行し、町の広報誌と同送し、全仮設住宅(みなし仮設を含む)町外避難世帯に配付		
その他 (連携状況等)		・毎月最終火曜日「山元町応急仮設住宅等連絡会」が開催されている。 行政からの連絡や住民からの要望に対するやり取りなどについても話し合いを実施。 この連絡会で決められたことを元にやまもと復興応援センターで支援調整を行なっている。 ＜連絡会構成メンバー:役場、民生委員、仮設住宅行政連絡員(住民代表8名)、警察署、消防署、社協＞ ・災害ボラ関係は、5月に「町・社協・主要なボラ団体2団体」で今後の活動について協議し、6月より随時「社協・ボラ団体」の情報交換会を実施 ・毎月開催されている民生委員協議会にも必要に応じて、生活支援相談員が参加し、情報交換を行なっている。		

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡ください。
 みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email: renpuku@gmail.com